

MICRO 90® 濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

項目1- 化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **MICRO 90®**

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途
万能洗剤
Cleaners
産業用用途
私用（家庭）に使用しないよう

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

International Products Corporation
201 Connecticut Drive
Burlington NJ 08016
アメリカ合衆国

電話番号: +1 (609) 386-8770
FAX番号: +1 (609) 386-8438
メール: mkt@ipcol.com
ホームページ: <https://www.ipcol.com/>

1.3.1 追加情報

| 製造者 | | | | | | |
|------------------------------------|-----------------------|------------------|---------|----------------|--|--|
| 名称 | 道路名 | 郵便番号/街 | 国 | 電話番号 | メール | ホームページ |
| International Products Corporation | 201 Connecticut Drive | 08016 Burlington | アメリカ合衆国 | 1-609-386-8770 | mkt@ipcol.com | www.ipcol.com |

1.4 緊急連絡電話番号

1.4.1 緊急時情報提供
+1 (609) 386-8770
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 08:00 - 16:30, Eastern Time

項目2-危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

| GHSに基づいた分類 | | | | |
|------------|-----------------|----|-------------------|---------|
| 章 | 危険性クラス | 区分 | 危険有害性クラス及び区分 | 危険有害性情報 |
| 3.9 | 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 2 | STOT RE 2 | H373 |
| 4.1A | 水生環境有害性（急性） | 3 | Aquatic Acute 3 | H402 |
| 4.1C | 水生環境有害性（長期間） | 3 | Aquatic Chronic 3 | H412 |

省略の全文：第 1 6 節を参照.

MICRO 90® 濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

最も重要な物理化学的悪影響、人の健康と環境に対する影響及び症状
短期及び長期ばく露からの遅発及び急性影響が予想される。消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ。

2.2 ラベル要素

表示


- 注意喚起語 警告

- 絵表示

GHS08



危険有害性情報.

| 注意喚起語 | ハザードシンボル | コード | 危険有害性情報. |
|-------|---|------|----------------------------|
| 警告 |  | H373 | 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ |
| | | H412 | 長期継続的影響によって水生生物に有害 |

- 注意書き

| コード | 注意書き. |
|------|-------------------------------|
| P260 | 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと. |
| P273 | 環境への放出を避けること. |
| P314 | 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること. |
| P501 | 内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること. |

2.2.1.7- 有害成分の表示

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム

2.3 他の危険有害性

PBT と vPvB の評価の結果

当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない。

内分泌かく乱作用

Does not contain an endocrine disruptor (EDC) in a concentration of $\geq 0,1\%$.

項目3-組成及び成分情報

3.1 物質

非該当 (混合物)




3.2 混合物

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

混合物の明細

| 物質名 | 特定名 | Wt% | GHSに基づいた分類 | 絵表示 |
|--|----------------------|-----------|---|---|
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | CAS-番号 64-02-8 | 10 - < 25 | Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 4 / H332 Eye Dam. 1 / H318 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 3 / H402 |  |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | CAS-番号 26447-10-9 | 5 - < 10 | Eye Irrit. 2 / H319 |  |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | CAS-番号 68584-25-8 | 5 - < 10 | Skin Corr. 1C / H314 Eye Dam. 1 / H318 Aquatic Chronic 3 / H412 |  |

項目4-応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医師の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医師の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第5節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, 耐アルコール性泡, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO2)

MICRO 90® 濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

5.3 消防士に対するアドバイス

環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で適切な距離から消火活動を行うこと。

項目6-漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

項目7-取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

- 保管室か容器のための特別な設計

- 貯蔵温度

推奨貯蔵温度: 2 - 43 °C

- 輸送容器の適合性

認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能。

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

項目8-ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

職場ばく露限界値（職場ばく露限界）

この情報は、入手できない

混合物の成分の関連するDNEL

| 物質名 | CAS-番号 | エンドポイント | 閾値 | 保護目標、ばく露の経路 | 次の部門に用いられる： | ばく露時間 |
|--|------------|---------|------------------------|-------------|-------------|----------|
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | DNEL | 1,5 mg/m ³ | ヒト、吸入 | 労働者（企業） | 慢性－局所的作用 |
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | DNEL | 3 mg/m ³ | ヒト、吸入 | 労働者（企業） | 急性－局所的作用 |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | DNEL | 26,9 mg/m ³ | ヒト、吸入 | 労働者（企業） | 慢性－全身的作用 |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | DNEL | 136,3 mg/kg 体重/日 | ヒト、経皮 | 労働者（企業） | 慢性－全身的作用 |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | DNEL | 4,1 mg/m ³ | ヒト、吸入 | 労働者（企業） | 慢性－全身的作用 |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | DNEL | 5,29 mg/kg 体重/日 | ヒト、経皮 | 労働者（企業） | 慢性－全身的作用 |

混合物の成分の関連するPNEC

| 物質名 | CAS-番号 | エンドポイント | 閾値 | 生体 | 環境コンパートメント | ばく露時間 |
|-------------------|------------|---------|-------------|--------|-------------|--------|
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | PNEC | 2,2 mg/l | 水中の微生物 | 淡水 | 短期（単回） |
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | PNEC | 0,22 mg/l | 水中の微生物 | 海水 | 短期（単回） |
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | PNEC | 43 mg/l | 水中の微生物 | 下水処理場 (STP) | 短期（単回） |
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | PNEC | 0,72 mg/kg | 地球型生物 | 土壌 | 短期（単回） |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | PNEC | 0,23 mg/l | 水中の微生物 | 淡水 | 短期（単回） |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | PNEC | 0,023 mg/l | 水中の微生物 | 海水 | 短期（単回） |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | PNEC | 100 mg/l | 水中の微生物 | 下水処理場 (STP) | 短期（単回） |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | PNEC | 0,862 mg/kg | 水中の微生物 | 淡水堆積物 | 短期（単回） |

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

| 混合物の成分の関連するPNEC | | | | | | |
|--|------------|---------|-------------|--------|-------------|---------|
| 物質名 | CAS-番号 | エンドポイント | 閾値 | 生体 | 環境コンパートメント | ばく露時間 |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | PNEC | 0,086 mg/kg | 水中の微生物 | 海底堆積物 | 短期 (単回) |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | PNEC | 0,037 mg/kg | 地球型生物 | 土壌 | 短期 (単回) |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | PNEC | 0,268 mg/l | 水中の微生物 | 淡水 | 短期 (単回) |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | PNEC | 0,027 mg/l | 水中の微生物 | 海水 | 短期 (単回) |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | PNEC | 7 mg/l | 水中の微生物 | 下水処理場 (STP) | 短期 (単回) |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | PNEC | 8,1 mg/kg | 水中の微生物 | 淡水堆積物 | 短期 (単回) |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | PNEC | 8,1 mg/kg | 水中の微生物 | 海底堆積物 | 短期 (単回) |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | PNEC | 35 mg/kg | 地球型生物 | 土壌 | 短期 (単回) |

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置 (個人的保護措置)

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。液体の飛び散りに備えて安全ゴーグルを着用すること。安全眼鏡で作業すること。

皮膚の保護

- 手の保護

EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

MICRO 90® 濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

- 材料の種類

PVC: ポリ塩化ビニル, PE: ポリエチレン, NR: 天然ゴム、ラテックス, CR: クロロプレン(クロロブタジエン) ゴム, NBR: アクリロニトリル・ブタジエン・ゴム, IIR: イソプテン・イソプレン(ブチル) ゴム, FKM: フルオロエラストマ, PVA: ポリビニル・アルコール, ニトリル

- 材料の厚さ

At least 4 mil.

- 手袋の材料の透過時間

>240分(透過性: レベル5)

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護(バリアクリーム/軟膏)を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が十分でない場合】呼吸用保護具を着用すること。ハーフ・マスク。タイプ:A(沸点が>65°Cの有機ガスと蒸気に対して、カラーコード:茶色)。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

項目9-物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

| | |
|---------------|--------------|
| 物理状態 | 液体 |
| 色 | 無色の-純粋な-淡黄色 |
| 臭い | アンモニアのような |
| 融点/凝固点 | -8 °C |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 100 °C |
| 可燃性 | 可燃性でない |
| 爆発下限界及び爆発上限界 | 測定できない |
| 引火点 | 測定できない |
| 自然発火点 | 測定できない |
| 分解温度 | 非該当 |
| pH(値) | 9-9,9(25 °C) |

溶解度

| | |
|------|--------------|
| 水溶解性 | あらゆる割合で混ざり合う |
|------|--------------|

分配係数

| | |
|----------------------|--------------|
| n-オクタノール/水分配係数(log値) | この情報は、入手できない |
|----------------------|--------------|

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

| | |
|-----|-----------|
| 蒸気圧 | 0,05 mmHg |
|-----|-----------|

比重

| | |
|--------|---|
| 密度 | 1,13 - 1,145 g/cm ³ では 25 °C |
| 相対ガス密度 | 当該特性に関する情報がない |

| | |
|------|----------|
| 粒子特性 | 非該当 (液体) |
|------|----------|

項目10-安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触危険物質」を参考に。

10.2 化学的安定性 保存可能期間

保存可能期間。

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

その他の化学物質と混ぜてはいけない。

10.5 混触危険物質

未硬化の塗料、亜鉛、アルミニウム、冷間圧延鋼、または銅とその合金との長時間の接触を避けてください。ポリカーボネート、ポリメチルメタクリレート、ポリフェニレンオキシドとの接触は避けてください。これらのプラスチックは時間とともにひび割れます。詳細については、製品の互換性シートを参照してください。

10.6 危険有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第5節を参照。

項目11-有害性情報

11.1 毒性学的影響の情報

試験データの基準。

分類手順

試験された混合物に基づく分類。

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

- 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。
- 呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として分類されない。
- 生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として分類されない。
- 発がん性
発がん性として分類されない。
- 生殖毒性
生殖毒性として分類されない。
- 単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。
- 反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
- 誤えん有害性
吸引性呼吸器有害性として分類されない。

項目12-環境影響情報

12.1 毒性

長期継続的影響により水生生物に有害。

| (急性) 水生毒性 | | | |
|-----------|---------|-------------|-------|
| エンドポイント | 値 | 生物種 | ばく露時間 |
| EC50 | 47 mg/l | ファットヘッド・ミノウ | 4 8 h |

| 混合物の成分の（急性）水生毒性 | | | | | |
|-------------------|------------|---------|-------------|---------|-------|
| 物質名 | CAS-番号 | エンドポイント | 値 | 生物種 | ばく露時間 |
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | LC50 | 41 mg/l | 魚 | 9 6 h |
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | EC50 | 140 mg/l | 水生無脊椎動物 | 4 8 h |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | LC50 | >1.000 mg/l | 魚 | 9 6 h |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | EC50 | >1.000 mg/l | 水生無脊椎動物 | 4 8 h |

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

12.2 難分解性及び分解性

| 混合物の成分の分解性 | | | | | | |
|--|------------|----------|--------|------|----|------|
| 物質名 | CAS-番号 | プロセス | 分解率 | 時刻 | 方法 | 出典 |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | 二酸化炭素生成量 | 99,8 % | 28 d | | ECHA |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | 二酸化炭素生成量 | 101 % | 28 d | | ECHA |

12.3 生物蓄積性

データなし.

| 混合物の成分の生物蓄積性 | | | | |
|--|------------|-----|--------------------------|----------|
| 物質名 | CAS-番号 | BCF | Log KOW | BOD5/COD |
| エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム | 64-02-8 | 1,8 | | |
| キシレンスルホン酸アンモニウム | 26447-10-9 | | 0,07 (pH 値: 8,87, 20 °C) | |
| ベンゼンスルホン酸、4-C10-13-sec-アルキル誘導体、化合物トリエタノールアミンを使って | 68584-25-8 | | 1,5 (23 °C) | |

12.4 土壤中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 内分泌かく乱作用

一つも成分が表示されていない.

12.7 他の有害影響

データなし.

項目13-廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

地元、国や連邦の規則に基づいて処分可能.

包装材／容器の廃棄物処分

認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたコン包は物質その物と同じ取扱になる.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

項目14-輸送上の注意

- 14.1 国連番号 未特定
 - 14.2 国連出荷名 未特定
 - 14.3 輸送時の危険性クラス なし
 - 14.4 容器等級 未特定
 - 14.5 環境有害性 危険物規則に基づいて環境有害性ではない
 - 14.6 使用者のための特別予防措置
追加情報がない。
- 輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)
未特定

項目15-適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

| 国 | 国家インベントリー | 状況 |
|----|------------|--------------------------|
| AU | AIIC | 全成分はリストに記載されている |
| CA | DSL | 全成分はリストに記載されている |
| CN | IECSC | 全成分はリストに記載されている |
| EU | ECSI | 全成分はリストに記載されている |
| EU | REACH Reg. | すべての成分が表示されていない |
| JP | CSCL-ENCS | すべての成分が表示されていない |
| JP | ISHA-ENCS | すべての成分が表示されていない |
| KR | KECI | 全成分はリストに記載されている |
| MX | INSQ | すべての成分が表示されていない |
| NZ | NZIoC | 全成分はリストに記載されている |
| PH | PICCS | すべての成分が表示されていない |
| TR | CICR | すべての成分が表示されていない |
| TW | TCSI | 全成分はリストに記載されている |
| US | TSCA | 全成分はリストに記載されている (ACTIVE) |

凡例

- AIIC Australian Inventory of Industrial Chemicals
- CICR Chemical Inventory and Control Regulation
- CSCL-ENCS 既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
- DSL Domestic Substances List (DSL)
- ECSI EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
- IECSC Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
- INSQ National Inventory of Chemical Substances

MICRO 90®
濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

凡例

| | |
|------------|---|
| ISHA-ENCS | 既存化学物質および新規化学物質のインベントリ (ISHA-ENCS) |
| KECI | Korea Existing Chemicals Inventory |
| NZIoC | New Zealand Inventory of Chemicals |
| PICCS | Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS) |
| REACH Reg. | REACHに登録された物質 |
| TCSI | Taiwan Chemical Substance Inventory |
| TSCA | Toxic Substance Control Act |

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

項目16-その他の情報

略語と頭字語

| 略 | 使用した略語の説明 |
|-----------------|--|
| Acute Tox. | 急性毒性 |
| Aquatic Acute | 水生環境有害性 (急性) |
| Aquatic Chronic | 水生環境有害性 (長期間) |
| BCF | 生物濃縮係数 |
| BOD | 生物化学的酸素要求量 |
| CAS | 化学情報検索サービス機関 (公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関) |
| CMR | 発がん性、変異原性、生殖毒性 |
| COD | 化学的酸素要求量 |
| DGR | 危険物規則書 (IATA/DGR参照) |
| DNEL | 導出無影響レベル |
| EC50 | 半数影響濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応 (例えば成長) が一定した期間内に50% 変化することを指す |
| EINECS | 欧州既存商業化学物質インベントリー |
| ELINCS | 欧州新規届出商業用化学物質名簿 |
| Eye Dam. | 眼の重篤な損傷 |
| Eye Irrit. | 眼刺激性 |
| GHS | 国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」 |
| IATA | 国際航空運送協会 |
| IATA/DGR | 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR) |
| IMDG | 国際海上危険物規則 |
| LC50 | 半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう |
| log KOW | n-オクタノール/水 |
| NLP | もはやポリマーとされない物質リスト |
| PBT | 難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質 |

MICRO 90® 濃縮洗浄液

発行日: 07.08.2023

次のバージョンの差し替え： 01.06.2023

| 略 | 使用した略語の説明 |
|-------------|--------------------|
| PNEC | 予測無影響濃度 |
| Skin Corr. | 皮膚腐食性 |
| Skin Irrit. | 皮膚刺激性 |
| STOT RE | 特定標的臓器毒性（反復ばく露） |
| vPvB | 極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質 |

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

試験された混合物に基づく分類.

健康への影響に基づいての分類 (CMRの影響)

分類は次の理由nに基づいている：:

調和した（法的）分類.

環境への影響に基づいての分類

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2と項目3で記すコードと全文を記載）

| コード | 文 |
|------|------------------------------|
| H302 | 飲み込むと有害. |
| H314 | 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷. |
| H318 | 重篤な眼の損傷. |
| H319 | 強い眼刺激. |
| H332 | 吸入すると有害. |
| H373 | 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ. |
| H402 | 水生生物に有害. |
| H412 | 長期継続的影響によって水生生物に有害. |

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のためのみにまとめられた.